



## 平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年12月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマザワ

コード番号 9993 URL <http://yamazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 宮雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 佐藤 慎三 TEL 023-631-2211

四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	83,331	8.9	767	△3.6	802	△0.7	△24	-
26年2月期第3四半期	76,489	-	795	-	808	-	133	-

- (注) 1. 包括利益 27年2月期第3四半期 45百万円 (△70.2%) 26年2月期第3四半期 152百万円 (-%)  
 2. 平成25年2月期より決算期を変更しております。これに伴い、平成26年2月期第3四半期と、比較対象となる平成25年2月期第3四半期の月度が異なるため、平成26年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	△2.22	-
26年2月期第3四半期	12.26	12.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	54,783	27,647	50.4
26年2月期	52,170	27,958	53.6

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 27,625百万円 26年2月期 27,938百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	-	16.50	-	16.50	33.00
27年2月期	-	16.50	-	-	-
27年2月期(予想)	-	-	-	16.50	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,000	10.1	1,300	5.9	1,300	2.8	310	32.5	28.48

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期3Q	10,960,825株	26年2月期	10,960,825株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	77,998株	26年2月期	79,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期3Q	10,882,504株	26年2月期3Q	10,881,954株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策の効果により、一部業種においては緩やかな景気回復基調となっておりますが、個人所得の増加はさほど見られず、更に原材料等の値上がりや、消費税増税による消費意欲の低下が見られるなど、先行きに関しては依然として不透明な状況が続きました。

小売業界におきましても、4月からの消費税増税を受けてお客様の消費動向はより慎重になっており、また、食品主体の小売業には、商品の価格・品質・鮮度や接客サービスなどあらゆる面でより高いレベルが求められ、多様なニーズへの対応が必要とされてきております。加えて、原材料の高騰や光熱費の更なる上昇もあり、業界を取り巻く環境は非常に厳しいものとなりました。

このような環境の中、当社グループにおきましては「地域のお客様に繰り返しご来店していただける店づくり」に向け、『役割分担』『良い結果を出す』を本年度のスローガンに掲げ、全社一丸となって各施策の実行及び検証を行なってまいりました。

当第3四半期連結累計期間の新規出店といたしまして、平成26年7月に宮城県黒川郡大和町に杜のまち店（ドラッグ併設）を開店いたしました。杜のまち店におきましては、宮町店（山形県山形市）以降の取り組みである料理提案型の店づくりを行ない、更に環境への配慮から、店内・駐車場にLED照明を採用しております。吉岡店に次ぐ大和町への出店は、宮城県北部地域におけるドミナントの形成を図ることを目的としております。

また、既存店の活性化といたしまして、平成26年9月に天童西店（山形県天童市）の改装を実施いたしました。

以上の結果、スーパーマーケット事業は、ヤマザワ店舗が山形県内42店舗、宮城県内24店舗の計66店舗、よねや店舗が秋田県内9店舗の、合計75店舗となりました。

営業施策といたしまして、販売面におきましては、お客様の低価格への要望が続く中、スーパーマーケット事業におきましては、引き続き恒例の「生活応援セール」や「水曜均一祭」の強化を行なってまいりました。「水曜均一祭」は、毎週恒例の企画となっております、食料品を中心にお買い得商品を多数そろえ、好評を得ております。

また、当社が加盟するニチリウグループ（日本流通産業株式会社）のプライベートブランド商品である「くらしモア」や、連結子会社の株式会社サンコー食品による当社オリジナルの惣菜・日配商品の拡販を積極的に行なってまいりました。

商品面におきましては、「地産地消」の更なる推進のため、地元生産者グループとの意見交換会を定期的に開催するとともに、安全・安心な地元農産物を安定的に仕入、販売できるよう取り組んでまいりました。なお、この度、以前より取引のある山形市土坂地区の青果物生産者グループが農業法人を設立し、地元農産物の生産拡大やブランド化を推進することとなり、青果部門におきましては、地元農産物のより一層の販売強化へつながる取り組みとしてこれまで以上に連携を図っております。

地域貢献活動といたしましては、各取引先の協力のもと、地域の子どもたちとの果物や野菜の収穫体験などを継続的に開催し、食育活動を行なってまいりました。

以上の取り組み並びに前連結会計年度末より連結子会社となったよねや商事株式会社の業績貢献などにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は833億31百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は7億67百万円（同3.6%減）、経常利益は8億2百万円（同0.7%減）となりました。四半期純利益におきましては、減損損失の計上等により△24百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は547億83百万円となり、前連結会計年度末と比較して26億13百万円の増加となりました。

資産の部においては、現金及び預金、そして棚卸資産の増加となりました。

負債の部においては、当第3四半期連結会計期間末日が銀行休業日だったため支払が翌月になったこと等により買掛金の増加となりました。

なお、純資産は276億47百万円となり、自己資本比率は50.4%となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想につきましては、平成26年10月3日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,744,870	7,488,957
受取手形及び売掛金	642,210	697,618
商品及び製品	4,683,814	4,978,372
仕掛品	1,557	482
原材料及び貯蔵品	105,713	108,688
その他	1,644,418	1,417,897
流動資産合計	11,822,584	14,692,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,829,598	14,603,751
土地	17,100,005	17,129,544
その他(純額)	2,512,172	2,388,938
有形固定資産合計	34,441,777	34,122,234
無形固定資産	2,196,050	2,222,692
投資その他の資産	3,710,196	3,746,906
固定資産合計	40,348,024	40,091,833
資産合計	52,170,609	54,783,851
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,874,082	9,068,266
短期借入金	6,526,000	7,216,950
1年内返済予定の長期借入金	313,958	297,536
未払法人税等	378,002	167,274
賞与引当金	340,947	690,226
役員賞与引当金	24,230	17,300
ポイント引当金	532,399	574,952
商品券回収損失引当金	70,528	55,263
その他	4,390,075	4,696,805
流動負債合計	19,450,223	22,784,573
固定負債		
長期借入金	1,054,485	844,702
退職給付引当金	729,609	739,309
資産除去債務	934,079	948,946
その他	2,044,127	1,818,470
固定負債合計	4,762,301	4,351,427
負債合計	24,212,524	27,136,001

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,388,717	2,388,717
資本剰余金	2,205,192	2,205,275
利益剰余金	23,434,822	23,051,532
自己株式	△90,222	△88,995
株主資本合計	27,938,509	27,556,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△237	69,286
その他の包括利益累計額合計	△237	69,286
新株予約権	19,812	22,032
純資産合計	27,958,084	27,647,849
負債純資産合計	52,170,609	54,783,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	76,489,153	83,331,450
売上原価	55,769,290	60,557,760
売上総利益	20,719,863	22,773,690
販売費及び一般管理費		
給料	7,184,822	7,797,112
賞与引当金繰入額	634,175	673,524
役員賞与引当金繰入額	21,260	17,300
退職給付費用	82,079	88,076
ポイント引当金繰入額	530,288	574,952
減価償却費	1,556,984	1,720,486
その他	9,914,376	11,134,813
販売費及び一般管理費合計	19,923,987	22,006,266
営業利益	795,875	767,423
営業外収益		
受取利息	4,116	3,863
受取配当金	7,896	7,916
保険解約返戻金	—	26,920
その他	31,785	32,180
営業外収益合計	43,798	70,881
営業外費用		
支払利息	17,807	27,878
その他	13,165	7,459
営業外費用合計	30,973	35,337
経常利益	808,699	802,967
特別利益		
固定資産売却益	18,382	—
保険料返還収入	15,418	—
寄付金収入	—	30,000
特別利益合計	33,800	30,000
特別損失		
固定資産売却損	72,238	323
固定資産除却損	43,309	3,967
減損損失	249,797	503,824
賃貸借契約解約損	31,080	—
特別損失合計	396,424	508,114
税金等調整前四半期純利益	446,075	324,852
法人税、住民税及び事業税	442,217	449,335
法人税等調整額	△129,604	△100,309
法人税等合計	312,612	349,025
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	133,462	△24,173
四半期純利益又は四半期純損失(△)	133,462	△24,173

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	133,462	△24,173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,910	69,524
その他の包括利益合計	18,910	69,524
四半期包括利益	152,373	45,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152,373	45,351
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。